



新着図書案内



日高分館に新しく入った本の一部です

むぎわらぼうし

豊岡市立図書館日高分館
〒669-5391
豊岡市日高町祢布 920 番地
(日高庁舎 1 階)
TEL 0796-21-9060
FAX 0796-42-6006

今月の詩

せ かい は 「はる」 で いっぱい です
ほ ら しんききゅうしてごらん
は の か お り が し み こ ん で
す る と そ ら に
そ ら に と ど け ま す
は の か お り を
ち い さ な か ぜ に の せ て
ち い さ な か ぜ が う ま れ ま す
ひ ら ひ ら は ば た く と
は の そ ば で
か ぜ に の せ て
あ げ は ゆ り こ

『のはらうた』5
くどうなおことのはらみんなノ作



4月の行事予定

行事	日時	対象	内容
絵本からのおくりもの 場所：おはなしのへや	8・22(土) 10:30~	幼児・児童	絵本の読み聞かせ おくりもの工作
絵本の読み聞かせの会 場所：子育てセンター	20(木) 10:30~	乳幼児とその保護者	絵本の読み聞かせ

一般書		児童書	
書名	著者名	書名	著者名
恋愛サバイバル	柴門 ふみ	101人が選ぶ「とっておきの言葉」	
日本古代史問答法	林 順治	働くってどんなこと？人はなぜ仕事を するの？	ギヨーム・ブルラン
50歳から個人で行くユネスコ 世界遺産の旅	富田 純明	庭のたからもの	大野 八生
どこまでやるか、町内会	紙屋 高雪	小さなパティシエのためのお菓子 Book 1~3	
いきたい場所で生きる	米田 智彦	和食をつくろう！ 1~3	柳原 尚之
みんなで子育て参戦！	萩本 悦久	劇場ってどんなところ？	70777・デューク
左利きあるある右利きないない	左 来人	はじめての浮世絵 1~3	深光 富士男
麻ひもで編むまるいバッグと四角いバッグ		光村ライブラリー 1~18	樺島 忠夫
一年中楽しめる透かし編みの 模様 82	リザパ・ス・ウイック	百人一首新事典	深谷 圭助
iacoupe のコッペパン	イアコッペ	金の月のマヤ 1~3	田森 庸介
女子のライザップ	RIZAP 株式会社	アサギを呼ぶ声 1~3	森川 成美
日本初「ロボットAI農業」の 凄い未来	窪田 新之助	チームつばさ	吉野 万理子
まぼろしの大阪テレビ	川崎 隆章	おしろのぼん人とガレスピー	ハツヤミ・ルク
レゴレシピ	ウォーレン・ルイ	あさですよよるでよ	かこ さとし
やさしい落語	柳家 花緑	みどりの町をつくろう	アソ・ドモト
不機嫌な作詞家	三田 完	ぼくの草のなまえ	長尾 玲子
いちばんわかりやすい俳句歳時記	辻 桃子	あからん	西村 繁男
原之内菊子の憂鬱なインタビュー	大山 淳子	とんとんだあれ？	マルク・ペロカ
ぼくのとなりにきみ	小嶋 陽太郎		
計画結婚	白河 三兔		
明日の湯	秋山 浩司		
全員少年探偵団	藤谷 修		
山猫珈琲 下	湊 かなえ		

本館・他館の資料も
お取り寄せします。
詳しくはカウンターで
お尋ね下さい。



イラスト協力 WANPUG

今月のテーマ展は・・・ はるかぜとイースター

キリスト教のお祭り、イースター。最近では、日本でも注目されていますね。

今年のイースターは4月16日です。そこで今月は、イースターに関係の深い、ウサギやたまごの本と、春に関する本を集めて展示しています。

図書館で、春を感じてみませんか？



テーマの本を
一部ご紹介♪

	書名	著者名	出版社
一般書	春の庭	柴崎 友香	文藝春秋
	新うさぎの品種大図鑑	町田 修	誠文堂新光社
	野の花ごはん	前田 まゆみ	白泉社
児童書	たまごってふしぎ	アリス・プロベンセン	講談社
	だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ	安房 直子	偕成社
	はるのあそび	竹井 史郎	岩崎書店



日高分館カレンダー



4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

は休館日です

【休館日】毎週火曜日・祝日・月末図書整理日

【開館時間】10:00~18:00

【HP】 <http://lib.city.toyooka.lg.jp>

第3回おたのしみ会「わくわくランド」開催しました!

3/24(金)に、図書館と子育てセンターの共催でおたのしみ会「わくわくランド」を開催しました。

歌や絵本の読み聞かせ、フィンガータップの後は、ギターやタンバリンを作り、みんなで演奏をしました。

多くの方のご参加、ありがとうございました。



おすすめの本

絵本

『くものすおやぶんとりものちょう』

秋山 あゆ子/さく

福音館書店 E/アキ 児童12



春らんまんの虫のまち。明日は、春祭りです。くものすおやぶんは、まちの見まわりをしていました。すると、おいしいおかしが評判の「かぐればね」から、お店にぬすみの予告状が届いたのです。「かぐればね」は、春祭りのために用意したおかしをぬすむつもりです。そこでおやぶんは、くもの糸を使って、「かぐればね」をつかまえるワナを仕掛けますが……。

名前のとおり、かくれるのが得意な「かぐればね」を探しながら読める、楽しい絵本です。さて「かぐればね」の正体は、なんでしょう？

読んであげれば、4歳ごろから楽しめます。

一般書

『翻訳できない世界のことば』

エラ・フランシス・サンダース/著 前田 まゆみ/訳

創元社 804/サン 一般10



その国では一言で表せる固有の言葉でも、他の国の言語に訳すとそのニュアンスをうまく表現できない「翻訳できない言葉」たち。それらを集め、わかりやすい説明文とともにカラフルなイラストで紹介した一冊。

例えば、「何も特別なことを考えず、ぼんやりと遠くを見ているときの気持ち」を日本では「ぼけっと」と言いますが、他の国では一言で表す言葉がないそうです。

さて、どんな言葉との出会いがあるのでしょうか？お気に入りの言葉を見つけてみてください。